

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
上田城下町地区

平成23年3月

長野県上田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	中心市街地商店街の歩行者数	人	1,547	1,650	982	確定 見込み	×	あり なし	975	H22年3月	×	郊外への買い物客等の流出に歯止めが掛からなかった。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	道路環境の整備ができたが、大型店の郊外立地などによる買い物客等の流出を止めるまでには至らなかった。
指標2	中心市街地商店街の空き店舗数	件	25	28	28	確定 見込み		あり なし	22	H22年5月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	増加傾向に歯止めがかかり、空き店舗数が減少に転じた。
指標3	交通事故件数	件/年	160	140	114	確定 見込み		あり なし	100	H22年4月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	交差点改良や歩道の整備により、交通事故件数を抑制することができた。
指標4	河川流下能力	m/s	21.5	28	28	確定 見込み		あり なし	-	H 年月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	事業の実施により、目標としていた流下能力を確保できた。
指標5	鉄道輸送人員	万人	123	126	124	確定 見込み		あり なし	123	H22年3月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	目標達成には至らなかったが、計画的な支援により、一定の成果が見られる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	上田城千本桜まつりの入込客数	万人	11	/	38	確定 見込み	/	/	-	H 年月	/		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	入込客数は増加しており、街なかへの回遊性の期待がもてる。
その他の数値指標2	別所線事故件数	件	7	/	4	確定 見込み	/	/	-	H 年月	/		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	安全対策関連の設備投資や基盤整備により、安全性の確保が図られ、事故件数の減少に寄与している。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年月	/		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	幹線道路及び生活道路の整備	・市道(中常田小牧線、諏訪伊勢山線、秋和踏入線、南天神町常田線、上田橋下掘線、北天神町線、材木町線)の整備・改良	・複数の主要骨格道路を整備したことにより、中心部へのアクセス性を高めることができた。	・中心市街地内を円滑に移動できる機能を併せ持った道路整備、改良を進めていく。
	鉄道の利用促進及び安全性の確保	・上田駅のホーム嵩上げ ・鉄道の安全運行に係る設備投資・修繕に対する助成	・電車とホーム間の段差解消や継続的な設備投資により、より安全な運行を確保することができた。	・今後も鉄道の安全性確保及び利用促進を図るため、安全で継続的な運行維持に対する支援を行なっていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	少子高齢化に対応した交通体系づくり	・市道の整備・改良 ・電線類の地中化 ・あんしん歩行エリアの整備	・道路の新築・改良、段差解消等により、高齢者や車椅子、自転車の通行に対する安全性が向上した。	・さらなる道路改良を行い、歩行者や車椅子快適に通行できる安全な歩行環境の確保や、自動車に頼りすぎない移動手段の推進に取り組む必要がある。
	求心性のある中心市街地の再生	・観光ルートマップの作成 ・ウォーキングイベントの開催及びパンフレットの作成 ・上田城千本桜のライトアップ及び観光客誘致のPR ・総合保健センターの建設 ・柳町地区の修景整備	・中心市街地商店街の歩行者数は減少傾向だが、上田城千本桜祭りの入込客数が年々増加しており、市街地内への回遊や市民参加による今後のにぎわいあるまちづくりに期待が持てる状況となった。	・市街地内に来訪者や市民が活発に交流できる場を創出し、街なかへの回遊性を向上させ、より中心性と求心性を持った市街地への再生に取り組んでいく。
	別所線の利用促進	・鉄道の安全運行に係る設備投資、助成 ・北向観音線表参道の無電柱化 ・駅前及び周辺施設への植栽、時計台の設置 ・健康増進、コミュニティ施設の整備(別所温泉駅付近) ・別所線各駅舎のボランティア清掃活動 ・中野駅パーク＆ライド駐車場の整備 ・沿線駅でのレンタサイクル実施	・輸送人員の最終年度は従前値と同程度であったが、期間中は増加傾向であり、計画的な支援によって一定の成果を得ることができた。	・今後も官民協働で運行支援をはじめ、各種イベントやPR、情報提供など、利用促進に向けた取り組みを進めていく。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
・市民協働による中心性、求心性の高い市街地の再生	・中心市街地での駐車場整備等により、観光客の街なかへの回遊性を高める。 ・来訪者や市民が活発に交流できる場を創出し、商店街等と連携し中心市街地の活性化を図る。	H22～26	・市街地内に残る文化財や歴史的建造物、既存商店街などの魅力を十分に生かし、交流人口を高める必要がある。